



第14回 「おたる案内人」マイスター 検定試験問題

2022年3月13日

小樽観光大学校

*合格発表は下記のホームページでご確認できます。
*URL:<http://www.otaru-kd.com>

各設問で選択問題は番号で、また記述問題は決められた字数で記入しなさい。
(制限時間90分)

問1

明治から昭和10年までの間にも観光現象が小樽でも起きました。この期間の観光現象で違うのはどれでしょうか。

1. 朝里温泉開業
2. 越中屋ホテル開業
3. オタモイ龍宮閣開業
4. おたる水族館開業

問2

歴史的建造物が再生された年代の順番で正しいのはどれでしょうか。

1. 北一硝子三号館→小樽オルゴール堂→小樽浪漫館→小樽運河ターミナル
2. 小樽オルゴール堂→北一硝子三号館→小樽浪漫館→小樽運河ターミナル
3. 北一硝子三号館→小樽オルゴール堂→小樽運河ターミナル→小樽浪漫館
4. 小樽浪漫館→北一硝子三号館→小樽オルゴール堂→小樽運河ターミナル

問3

昭和後期には様々な観光キャンペーンや言葉が発信されましたが、その時代の言葉ではないのは次のどれでしょうか。

1. ディスカバージャパン
2. アンノン族
3. るるぶ観光
4. バーチャル観光

問4

昭和53(1978)年は小樽運河保存運動の様々な団体が誕生しましたが、この年に誕生していない団体は次のどれでしょうか。

1. 小樽運河を考える会
2. ポートフェスティバル実行委員会
3. 小樽夢の街づくり実行委員会
4. 小樽運河百人委員会

問5

俗に「小樽観光元年」といわれた年は次のどれでしょうか。

1. 第一回おたる潮まつりの昭和42(1967)年
2. 小樽博覧会が開催された昭和59(1984)年
3. 小樽運河が再整備された昭和61(1986)年
4. 小樽運河プラザが開館した平成元(1989)年

問6

小樽の観光は運河を起点に堺町から施設が出来はじめていきました。現在、観光関係の公的機関が新たな観光拠点として模索していない地区は次のどれでしょうか。

1. 旧手宮線沿線地区
2. 奥沢地区
3. 第三埠頭周辺
4. 北運河地区

問7

2021年、小樽市が申請した「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽～「民の力」で創られ蘇った北の商都」が日本遺産候補にノミネートされましたが、その構成文化財26件の一つに「色内銀行街」が入っています。小樽経済が衰退し撤退が続いた銀行街は歴史的建造物再生によって観光街に変貌してきました。次のまちづくりイベントで銀行街を観光街にする提案をしたのはどれでしょうか。

1. ポートフェスティバル
2. サマーフェスティバル
3. 小樽国際音楽祭
4. 小樽運河ロードレース

問8

小樽運河保存運動がきっかけとなり小樽は観光都市となっていきましたが、その小樽運河保存運動を牽引した故峯山富美氏が晩年著した書物はどれでしょうか。

1. 小樽運河保存の運動 2. 小樽運河 3. 地域に生きる 4. 小樽志民

問9

「小樽雪あかりの路」は小樽ゆかりの作家の詩集の題名から名付けられました。その作家の名前は次のどれでしょうか。

1. 石川啄木 2. 小林多喜二 3. 伊藤 整 4. 蜂谷 涼

問10

「小樽雪あかりの路」に学生ボランティア団体としてこれまで公式に参加していない国は次のどれでしょうか。

1. オーストラリア 2. 中国 3. 韓国 4. アメリカ

問11

「小樽雪あかりの路」で製作する雪の造作物は何と総称されるでしょうか。次の中から選びなさい。

1. スノーキャンドル 2. オブジェ 3. 雪 像 4. アイスキャンドル

問12

「小樽雪あかりの路」のルールで現在公式には認められていないのは次のどれでしょうか。

1. ガラスの浮き玉を使う 2. 木の枝などの自然物を使う
3. ツララや氷を使う 4. 天然の絵の具で色をつける

問13

「小樽雪あかりの路」は小樽のどのようなまちづくり運動、イベントとの人的関連から生まれたでしょうか。次の中から選びなさい。

1. おたる潮まつり 2. 小樽運河保存運動
3. マイカル小樽建設反対運動 4. 小樽博覧会

問14

「小樽雪あかりの路」の創設時に関わっていない人物は次のどれでしょうか。

1. 小川原 格 2. 山城栄太郎 3. 米花正浩 4. 山口 保

問15

今回（第24回）「小樽雪あかりの路」の公式本会場はどれでしょうか。

1. 運河会場 2. 手宮線会場
3. あかりの路会場 4. 公式本会場は設定していない

問16

今年の「小樽雪あかりの路」は公式には何日間行われたでしょうか。

1. 10日間 2. 8日間 3. 5日間 4. 3日間

問17

浅草通りにある建物の説明です。該当するものを選びなさい。

「大正期の建物で、田辺淳吉の設計。市指定歴史的建造物。外観は曲線を活かしたアール・ヌーヴォーの様式を取り入れています。創建時は入口や柱に装飾がありましたが、現在は取り除かれています。」

1. 旧三井物産小樽支店 2. 旧三菱銀行小樽支店
3. 旧第一銀行小樽支店 4. 旧北海道拓殖銀行小樽支店

問18

北前船日本遺産の小樽における構成文化財で違うものは次のどれでしょうか。

1. 住吉神社奉納物
2. 旧魁陽亭
3. 龍宮神社鳥居
4. 日和山

問19

2021年11月、国の文化審議会が国の重要文化財に指定するよう答申し、2022年2月に正式に指定されたなかに後志の建造物が2件あります。1件は小樽市の旧三井銀行小樽支店、もう1件は次のどれでしょうか。

1. 日本銀行旧小樽支店
2. 泊村 旧川村家番屋
3. ニッカウキスキー余市蒸留所施設
4. 寿都町 佐藤家

問20

似鳥美術館の入り口前でガイドしています。話している内容が間違っているのは次のどれでしょうか。

1. この界限は色内銀行街とよばれ、2021年、小樽市が日本遺産として申請した「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽～「民の力」で創られ蘇った北の商都」の構成文化財のひとつとなっています。半径500メートルの範囲に明治末から昭和中期に建てられたたくさんの銀行建築が立ち並ぶ景観は、全国的にも小樽でしか見ることができないといわれています。中でも象徴的な銀行建築として、明治39（1906）年建築の市指定有形文化財の日本銀行旧小樽支店です。
2. この建物は、大正12（1923）年建築の旧北海道拓殖銀行小樽支店です。設計は国会議事堂の設計に関わった矢橋賢吉。美術館への改装前は銀行ホールの吹き抜けや、6本の古典的円柱がカウンターに沿って立つ見事な姿を見ることができました。
3. 札幌方面の向いの建物は旧三菱銀行小樽支店で、大正11（1922）年の建築です。現在は運河ターミナルとして活用され1階は観光施設として活用されています。
4. 小樽芸術村はこの似鳥美術館をはじめ、どの建物も歴史的建造物を活用した施設になっています。旧高橋倉庫はステンドグラス美術館として、旧三井銀行小樽支店は内部を一般公開しています。また今年新たに木骨石造倉庫を活用した美術館が出来る予定です。

記述式問題

次の各設問に200字前後の文章で述べなさい。(簡条書きは不可)

1. 人そのものも観光資源と云われていますが、小樽観光に相応しい人材とは、あなたはどのように考えますか。

＜まちづくり観光論より＞

2. 今回(第24回)の「小樽雪あかりの路」で新設された「あかり人」という企画はどのようなものかを前回からの経緯を含めて説明しなさい。

＜観光資源論より＞

総合記述問題

次の設問に600字以上800字以内の文章で述べなさい。(簡条書きは不可)

長引く新型コロナウイルス感染症により国内観光のあり方も大きく変化してきました。近郊に焦点をあてたマイクロツーリズムをはじめ、これまで観光地ではなかった町に光をあて新たな観光に結びつけるなど、様々な動きが出てきています。

このように社会状況が変化していくなかで、これからの小樽観光を考えたとき、新たな観光資源としてどのようなものがあると思いますか。あなたが思う観光資源を具体的に書き、それを新たな観光として活かすための展開方法を提案しなさい。

*単に観光コースの提案ではなく、何を目的とした観光なのか、またその効果も書きなさい。

(複数の提案可)

*小樽市内にこだわらず、小樽近郊も含めた提案でもよい。